

この度は弊社製品弓形トルクレンチ、ストレート形トルクレンチをお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。

本製品を正しくご使用頂く為に、この取扱説明書を必ずお読みください。お読みになられた後もお使いになる方がいつでも見られる様に大切に保管してください。

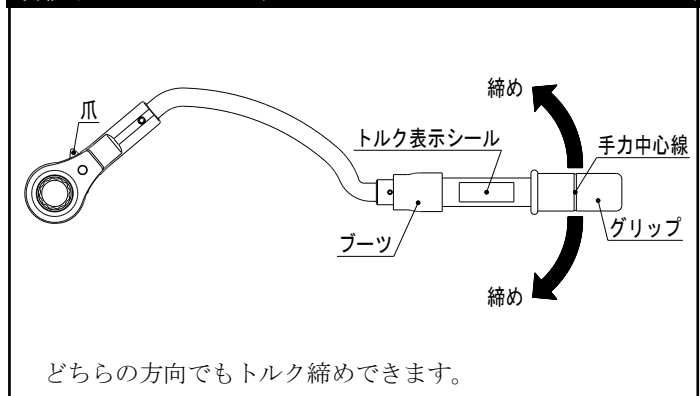
製品番号と仕様をご確認ください。 ※お客様でのトルク設定は不要です。

製品番号		設定トルク値 (N・m)	トルク精度 (%)	ボルトサイズ (対辺寸法)
弓形トルクレンチ	ストレート形トルクレンチ			
RM-24LYNT	RM-24LST	60	±3	M16(24mm)
RM-30LYNT	RM-30LST	100	〃	M20(30mm)
RM-36LYT	RM-36LST	140	〃	M24(36mm)
RM-46LYT	RM-46LST	200	〃	M30(46mm)

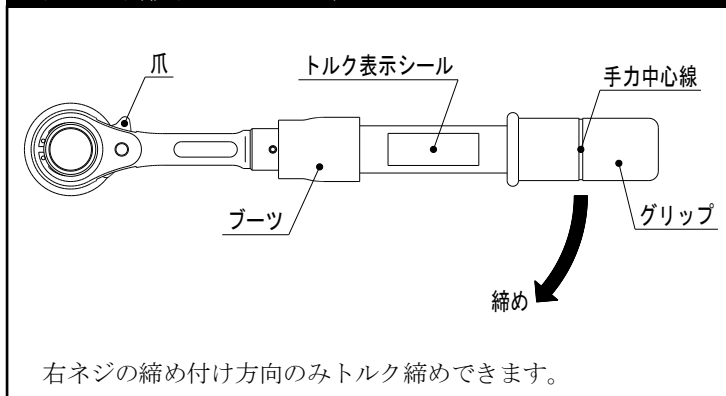
設定トルク値以外のトルク値でも特注対応します。

## 1. 製品仕様

### 弓形トルクレンチ (RM-24LYNT・30LYNT・36LYT・46LYT)

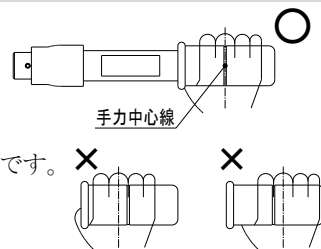


### ストレート形トルクレンチ(RM-24LST・30LST・36LST・46LST)



## 2. 使用方法

- (1) 水道本管フランジ部のナットにソケット部を差込みます。
- (2) グリップ部の手力中心線(上図参照)に中指がくるように握り、ボルト・ナットを駆動します。  
この時、手力中心線からずれて握るとトルクに誤差が出ますので注意してください。(右図参照)
- (3) はずみをつけず『ゆっくり』と力を掛けてください。
- (4) 繰り返し駆動し、『カツン』という音、または手に軽い『ショック』を感じたら、締め付けは完了です。
- (5) トルク値に達しましたら、すばやく力を抜いてください。  
そのまま締め付け続けるとオーバートルクになります。
- (6) 作業前にテスト打ちをしてください。初めの数回は、本体トルク機構がなじんでいないので、トルク値が安定しません。



## 3. 注意事項及び点検、保守

- ブーツ及びグリップは防水対策を兼ねておりますので、外したり、傷付けたりしないでください。トルク機構部のサビ・故障の原因になります。
- 使用中に万が一ブーツ及びグリップが外れたり、傷付いた場合は、市販されているゴム用途の接着剤等で防水補修してください。  
もし紛失または修復できない場合は、修理(有償)いたしますので、下記営業所かご購入された販売店まで製品をお送りください。
- 『カツン』という音、または手に軽い『ショック』が感じられなくなった時は故障です。修理・点検を受けてください。(有償)  
オーバートルクを掛けた場合、トルク値に狂いが生じ易くなります。
- ラチェット頭部は特に泥水等の中で使用し、泥が付着した場合は、水道水等で洗い流し、水分を良く拭き取り、乾燥させ、注油してください。
- サビ付いたボルト・ナットを緩める場合は、設定トルク値以上の力を掛けないでください。破損及びトルク値が狂う恐れがあります。
- ストレート形トルクレンチは右ネジのボルト・ナットの締め付けのみトルク設定されております。左ネジの締め付けでのご使用にはトルク設定されておられません。
- 校正証明書及びトレーサビリティが必要な場合は、有償で対応します。
- ボルト・ナットに合ったサイズを使用し、斜め掛け・浅掛けはしないでください。
- 工具の使用目的以外には使用しないでください。